

令和2年度 小松市予算のあらまし



「国際都市こまつ 北陸のダントツのまち」をめざして！

もくじ

	ページ
1. 予算ってなに？	1
2. 令和2年度の予算はいくら？	2
3. どんないちうがあるの？	3
4. 予算は何に使うの？	6
5. 借金（市債）はいくらあるの？	9
6. 貯金はいくらあるの？	9
7. 市民一人当たりどのくらいの予算が使われているの？	10
8. 主な施策の概要	11

1. 予算ってなに？（予算の仕組み）

地方公共団体は、新しい年度が始まる前に、1年間（4月1日から翌年の3月31日まで）の税金や補助金などの収入と1年間の行政サービスに使われる金額を見積ります。この見積りのことを「予算」と言います。

Q. どのような予算があるの？

市の予算は、使う目的によって一般会計、特別会計、企業会計に区分しています。

- 一般会計……税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など市の基本的な仕事をする会計です。
- 特別会計……国民健康保険や介護保険など特定の事業をするために、一般会計とは別に保険料など特定の収入を集めて運営する会計です。
- 企業会計……上下水道や病院で、民間企業のように料金収入などの事業収益により運営する会計です。

Q. どうやって予算が決まるの？

市長が予算案をつくり、市議会の審議・議決を経て決まります。1年間の予算で一番最初に決まる予算を「当初予算」といいます。

Q. 年の途中で予算を変えることはないの？

変えることがあります。「補正予算」といいます。当初予算を変更する必要があるときは、市長が予算の変更案をつくり、当初予算と同じく市議会の審議・議決を経て変更します。

Q. 予算を使ったあとは？

年度が終わり、1年間の入ってきたお金と使ったお金の結果を「決算」といいます。年度が終わった後、決算書を会計管理者（お金の出し入れを管理する職員）がつくり、市長が市議会の認定を受けます。

2. 令和2年度の予算はいくら？

Q. 会計別の予算はいくら？

一般会計	458億7,000万円	(前年度比 +12億9,000万円 2.9%増)
特別会計	320億 150万円	(前年度比 + 5億7,700万円 1.8%増)
企業会計	219億 850万円	(前年度比 △ 5億7,700万円 2.6%減)
全会計	997億8,000万円	(前年度比 +12億9,000万円 1.3%増)

・内訳表

(単位：百万円)

		2年度	元年度	増減額	増減率
一	般 会 計	45,870.0	44,580.0	1,290.0	2.9 %
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	10,254.0	10,472.5	△ 218.5	△ 2.1 %
	介 護 保 険	10,127.0	10,058.0	69.0	0.7 %
	公 債 管 理	9,069.2	9,000.5	68.7	0.8 %
	産 業 団 地	965.3	371.5	593.8	159.8 %
	後 期 高 齢 者 医 療	1,586.0	1,522.0	64.0	4.2 %
	小 計	32,001.5	31,424.5	577.0	1.8 %
企 業 会 計	水 道	3,244.6	4,344.2	△ 1,099.6	△ 25.3 %
	下 水 道	8,692.9	8,729.3	△ 36.4	△ 0.4 %
	病 院	9,971.0	9,412.0	559.0	5.9 %
	小 計	21,908.5	22,485.5	△ 577.0	△ 2.6 %
合 計	99,780.0	98,490.0	1,290.0	1.3 %	

△はマイナスを表しています。

Q. 予算の特徴は？

一般会計・・・歳入（収入）では、市税（税金）において法人市民税が世界経済の減速等による企業業績や税率の変更により前年度比約10億円の減となっています。他に幼児教育・保育無償化の通年化や学校・子育て施設建設などにより国県支出金が前年度比約20億円の増となっています。

歳出（支出）では、幼児教育・保育無償化や通年化や障がい者・高齢者福祉の充実等により扶助費が前年度比5.2億円の増、松東みどり学園や松東地域こども園のしろ児童館などの学校・子育て施設建設等により普通建設事業費が前年度比4.9億円の増など、全体で前年度比12.9億円の増となりました。

特別会計・・・介護保険、後期高齢者医療の2つの会計では、高齢化の伸展や医療の高度化による介護サービス費や医療費といった社会保障費の増加などにより前年度比1.3億円の増となっています。

産業団地は、安宅新地区の土地区画整理事業の本格化により前年度比5.9億円の増となっています。

企業会計・・・水道では、丸の内配水場改築の完了により大きく減少しました。

市民病院では、新たな機能を追加した放射線治療装置を更新します。

3. どんな収入があるの？

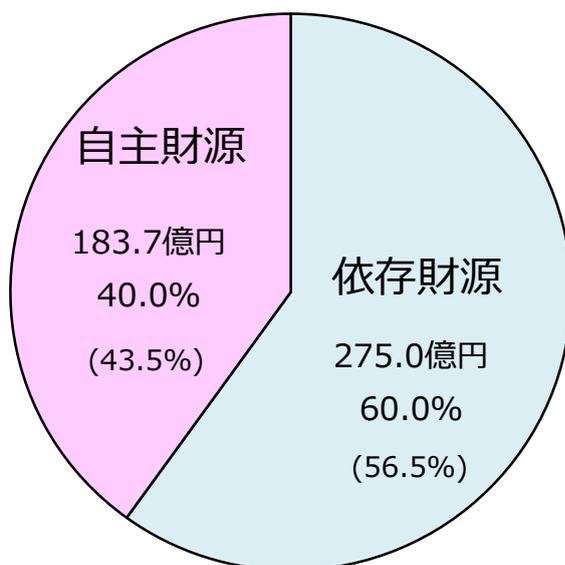
自主財源	市税	皆さんが納めた税金です。	160億6千万円
	負担金や使用料	施設の使用料や保育料などです。	7億5千万円
	繰入金	年度調整のため、貯金から取り崩す額です。	5億4千万円
	諸収入など	資源ごみ売却収入など他に区分されない収入です。	10億2千万円
依存財源	国・県支出金	国や県からの補助金です。	122億2千万円
	地方交付税	全国で一定の行政サービスを提供するために国や県から	67億8千万円
	譲与税・交付金	交付されるお金です。	38億3千万円
	市債	銀行などから借り入れる市の借金です。	46億7千万円
合 計			458億7千万円

Q. 自主/依存財源の割合は？

「自主財源」とは、市が自主的に集めることができる財源です。市税、負担金や使用料、繰入金などがあります。

「依存財源」とは、国や県により決定される財源です。国・県支出金、地方交付税、地方譲与税、市債などがあります。

令和2年度予算 自主・依存財源割合



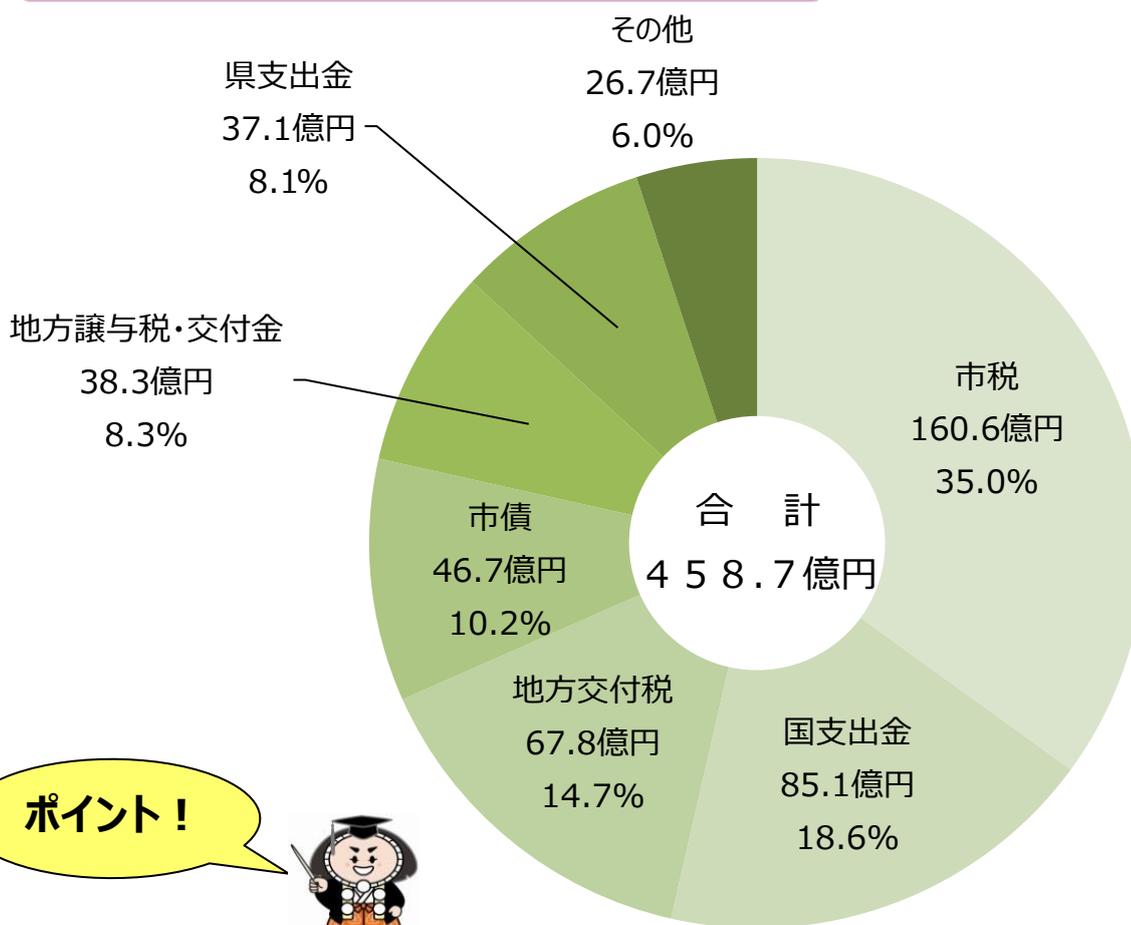
ポイント！

小松市の一般会計の収入のうち、
約4割が「自主財源」です。
約6割が「依存財源」です。



※()内は、R元年度の数値

Q. 一般会計収入の内訳は？



ポイント！



- 市民の皆さんが納める税金が、収入の35.0%を占めます。
- 地方交付税は67.8億円で、前年度比2.5億円の増となっています。
- 地方譲与税・交付金では、消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金が前年度比4.3億円の増、新設された法人事業税交付金で2.2億円の増となる一方、幼児教育・保育無償化の地方負担分に係る交付金が令和2年度は地方交付税で措置されることとなるため前年度比4.4億円の減となり、全体では1.5億円の増となっています。
- 幼児教育・保育無償化の通年化や学校・子育て施設の整備などに伴い、国支出金は前年度比14.7億円の増、県支出金は5.5億円の増となっています。

・市税の内訳

項目	金額 (億円)	対前年比
・固定資産税 (土地や家屋を所有している人が納めます)	69.4	+ 2.2%
・個人市民税 (所得に応じて納めます)	60.0	+ 3.4%
・法人市民税 (会社の利益に応じて納めます)	11.6	△ 47.5%
・軽自動車税 (軽自動車を持っている人が納めます)	3.1	+ 8.9%
・市たばこ税 (タバコを買った人が納めます)	6.6	△ 1.5%
・その他 (入湯税や都市計画税)	9.9	+ 1.5%

・国・県支出金

特定の目的（道路をつくるなど）のために国や県から交付されます。

- ・国庫支出金 85億 943万円 
- ・県支出金 37億1,167万円 

・各種交付金の内訳

- ・利子割交付金 2,100万円 
- ・配当割交付金 6,300万円 
- ・株式等譲渡所得割交付金 3,500万円 
- ・法人事業税交付金 2億2,000万円 **新**
- ・地方消費税交付金 26億円 
- ・ゴルフ場利用税交付金 5,600万円 
- ・環境性能割交付金 4,600万円 
- ・地方特例交付金 1億 500万円 
- ・交通安全対策特別交付金 1,300万円 
- ・国有提供施設等所在市助成交付金 3億円 

・地方交付税

地方自治体の税収の不均衡を調整し、全国どの地域も一定の行政サービスを提供できるように、国から交付されます。金額は、自治体の財政状況によって決まります。

- ・普通交付税 61億5,000万円 
- ・特別交付税 6億3,000万円 

・地方譲与税

国税として徴収した収入の一部を一定の基準により地方自治体に譲与されます。

- ・自動車重量譲与税 2億4,900万円 
- ・航空機燃料譲与税 800万円 
- ・地方揮発油譲与税 9,200万円 
- ・森林環境譲与税 2,500万円 

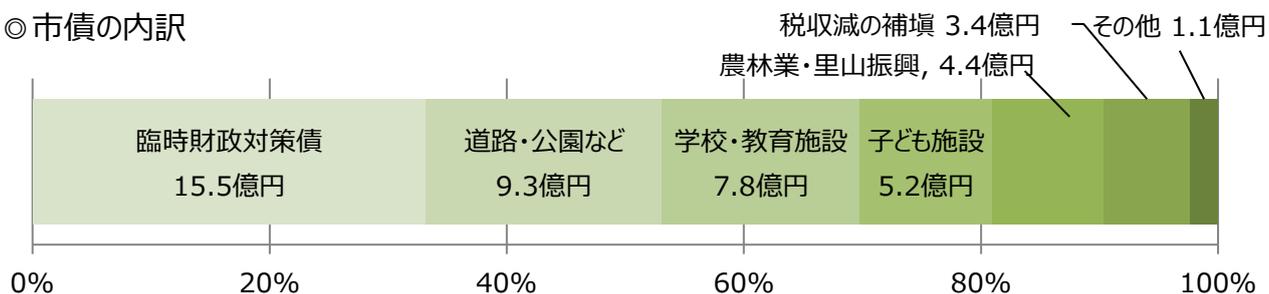
・その他の収入

- ・分担金及び負担金（保育料など） 1億5,609万円 
- ・使用料及び手数料（施設使用料や住民票手数料など） 5億9,215万円 
- ・財産収入（土地などの売却収入や基金の利子など） 1億4,538万円 
- ・繰入金（基金からの繰り入れ） 5億4,229万円 
- ・繰越金（前年度からの繰り越し） 1千円 
- ・寄附金（個人版・企業版ふるさと納税など） 2億6,270万円 
- ・諸収入 6億1,299万円 

Q. 借金をするのはなぜ？

道路や学校などの公共施設の整備には一度に多額の経費がかかります。そのお金を整備する年度の予算だけを使った場合、施設は長く使われるのに整備に必要なお金は、その時の市民だけが負担することになってしまいます。長期に借入れる借金には、将来施設を利用する市民の税金で支払うことにより、世代間の負担を公平にするという役割があります。

◎市債の内訳



4. 予算は何に使うの？

義務的経費

人件費	58億1,528万円	🔵
扶助費	107億162万円	🔵
公債費	57億7,170万円	👑
小計	222億8,860万円	

毎年、必ず支出しなければならない経費です。

- ・人件費…職員の給料など
- ・扶助費…子どもや障がい者、高齢者などの福祉や医療にかかる経費
- ・公債費…借金の返済にかかる経費

一般行政経費

物件費	59億8,382万円	👑
補助費等	32億7,773万円	🔵
維持補修費	2億72万円	👑
一部事務組合負担金	1億6,670万円	🔵
上下水道・病院への交付金	29億8,541万円	👑
小計	126億1,437万円	

施設の維持管理費や、行政サービスを行うための事務経費です。

- ・物件費 …光熱水費や消耗品費、通信費など
- ・補助費等…特定の事業や研究を行う公益団体に対する補助金など
- ・一部事務組合負担金…複数の自治体が共同で事務を行う組合に対する小松市分の負担金
- ・上下水道・病院への交付金…事業の公益性から、費用の一部を国の基準に基づき負担する経費

投資的経費

普通建設事業(補助)	46億7,657万円	🔵
普通建設事業(単独)	21億3,917万円	👑
小計	68億1,574万円	

道路や公園，防災・減災対策など，建設事業にかかる経費

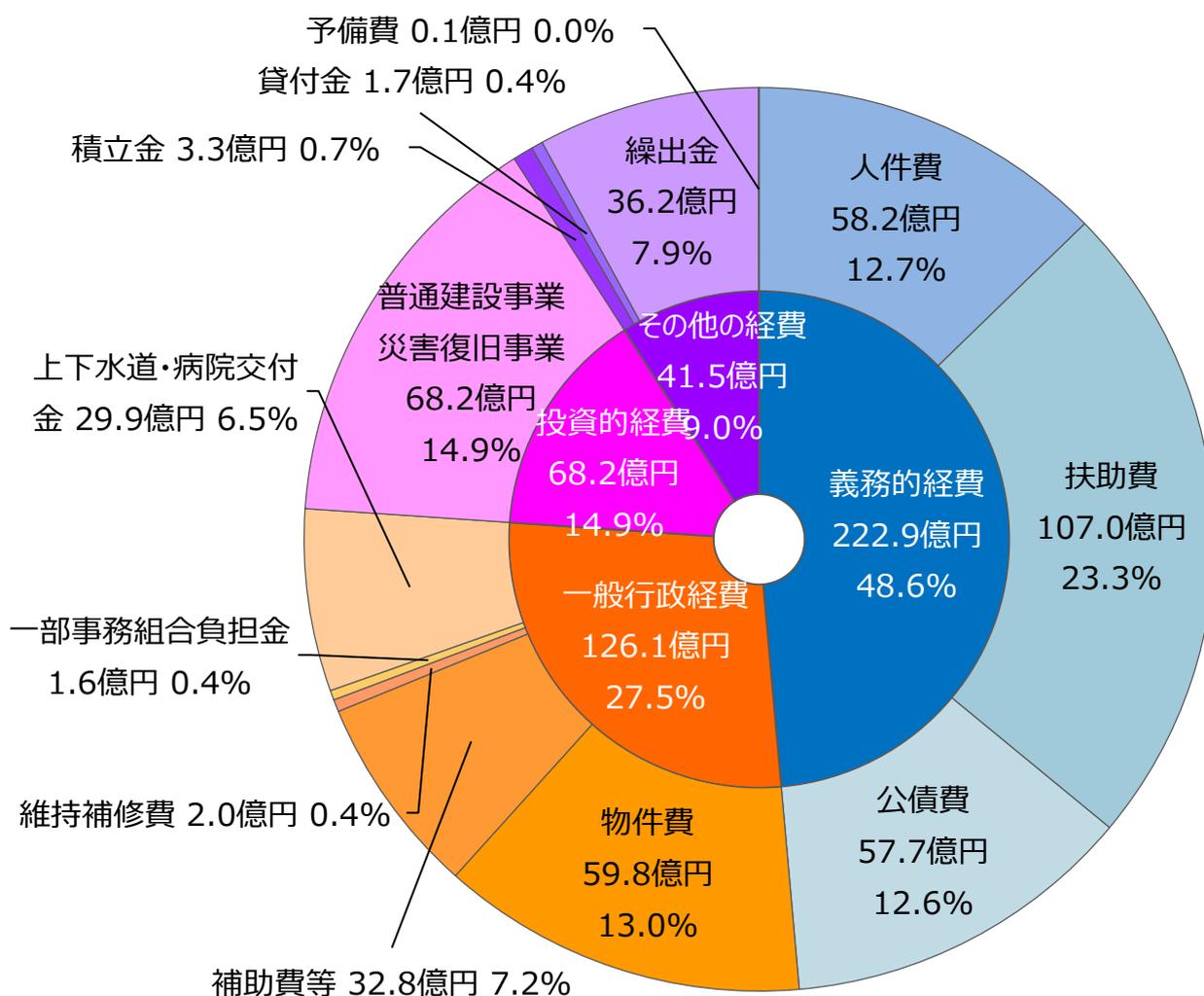
その他の経費

積立金	3億3,571万円	🔵
貸付金	1億8,666万円	🔵
繰出金	36億1,892万円	🔵
予備費	1,000万円	👉
小計	41億5,129万円	
合計	458億7,000万円	

上記以外の経費です。

- ・積立金…基金（市の貯金）への積立
- ・繰出金…特別会計に対し負担する経費
国民健康保険，介護保険，後期高齢者医療等の社会保障にかかる特別会計への負担経費
- ・予備費…災害など緊急に支出が必要となったときのために準備している予算

Q. 一般会計の支出の内訳は？



ポイント！



- 義務的経費は、前年度比9.1億円の増となっています。
要因としては、令和2年度から開始される会計年度任用職員制度により、今までは一般行政経費の物件費となっていた経費が人件費となったため、人件費全体で前年度比5.1億円増となりました。
- 扶助費では、認定こども園の増加や幼児教育・保育無償化通年化に伴う支出、障がい者自立支援費などで、5.2億円の増となっています。
- 公債費は、民間資金の活用や市債の発行抑制、繰上償還による市債残高の圧縮により、前年度比1.2億円の減となっています。
- 一般行政経費は、物件費が会計年度任用職員制度開始による人件費への移行による減の一方、小学校高学年・中学1年に1人1台タブレットPCの配置による増(3.4億円)もあり、前年度比3.7億円の減となりました。開学3年目となる公立小松大学の運営費など補助費等の増(前年度比1.0億円の増)により、前年度比2.2億円の減額となっています。

① 普通建設事業費

松東みどり学園や松東地域こども園、のしろ児童館など教育や子ども・子育てに関する施設や、旧西尾小学校を改修して整備するSatoyama Artist Collegeこまつ観音下などの里山地域の振興施設の整備により、前年度比4.9億円の増となっています。特別会計・企業会計を加えた全会計の建設事業費は、前年度比4.0億円の増となっています。

◎ 普通建設事業費の内訳(一般会計)

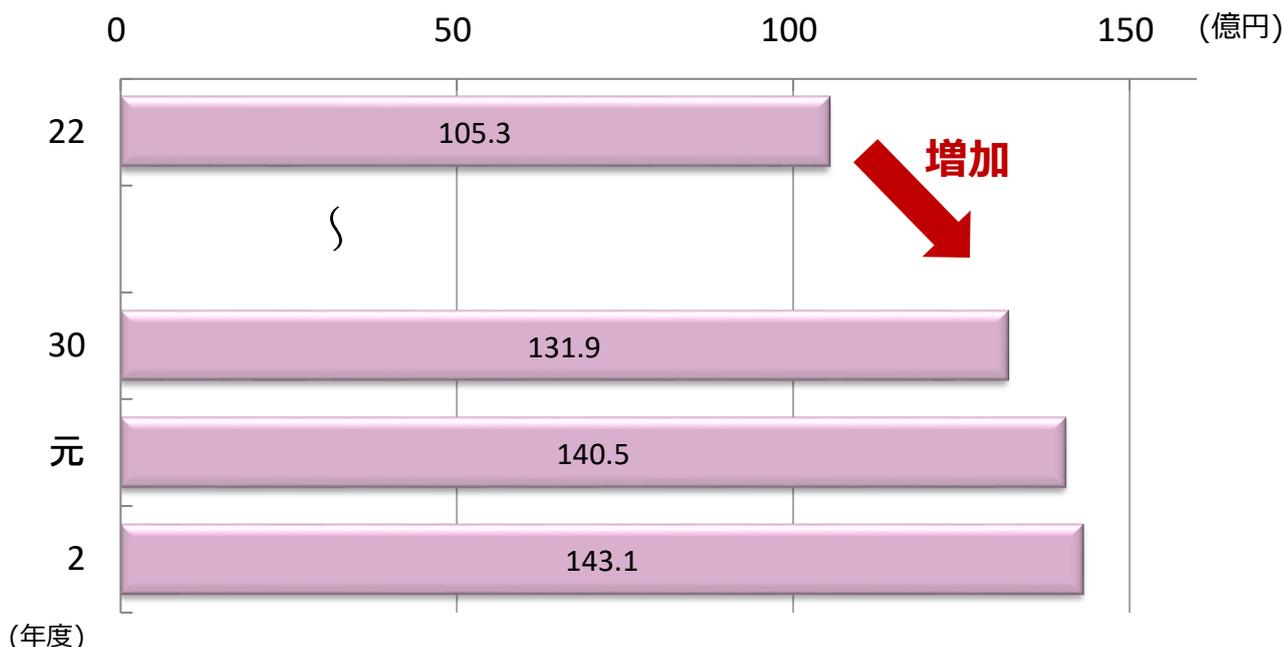


② 社会保障費

少子・長寿社会の進展により、社会保障費は年々増加傾向にあり、10年前と比べると37.8億円増加しています。

平成27年度から実施されている「子ども・子育て支援制度」による認定こども園の増加、令和元年10月に実施された幼児教育・保育無償化に伴う保育料見合い分の交付などによる私立認定子ども園・保育所児童運営費の増加、子ども医療費の無料化等による子育て支援の増加などにより、本年度の社会保障費は143.1億円となっています。

◎ 社会保障費の推移

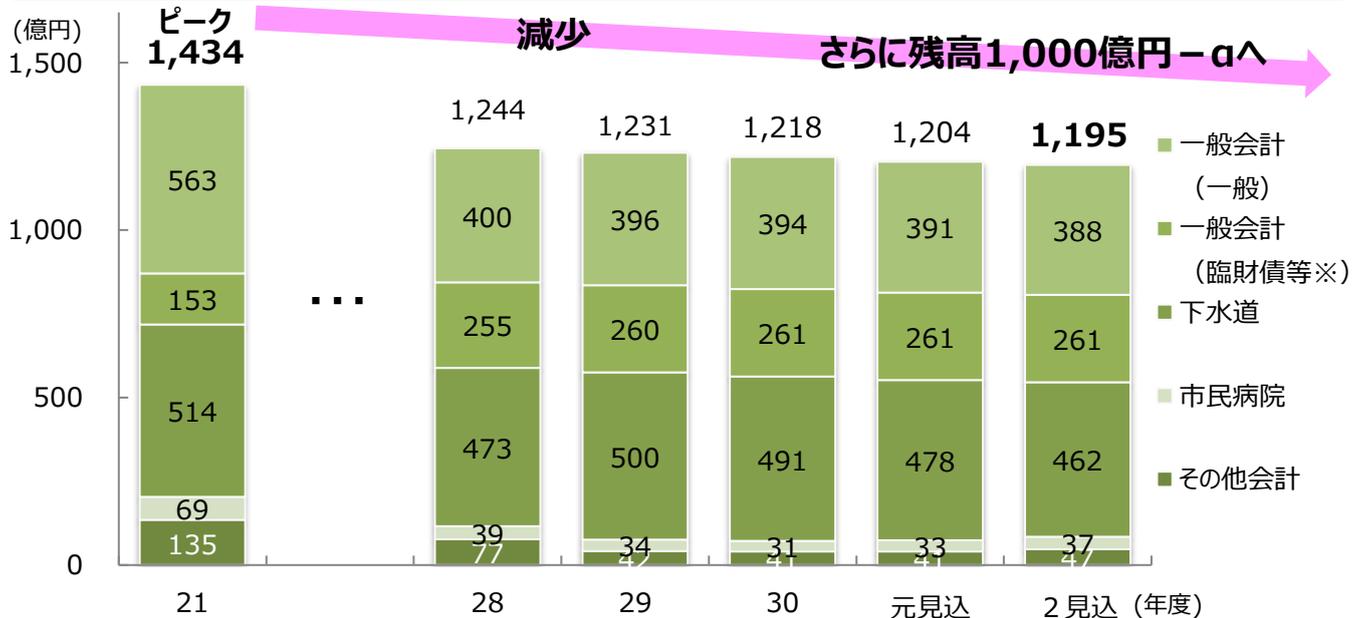


※平成30年度までは決算額，令和元年度は決算見込額，令和2年度は予算額

5. 借金（市債）はいくらあるの？

小松市の借金(市債)の残高は、繰上償還等を行ってきたことなどにより着実に減少しています。市債残高のピークである平成21年度から11年間で約239億円改善し、令和2年度末の市債残高見込は、全会計で約1,195億円となっています。

NEXT10年ビジョンでは令和7年度末の市債残高「1,000億円-a」を目標としており、将来負担のさらなる軽減に努めていきます。

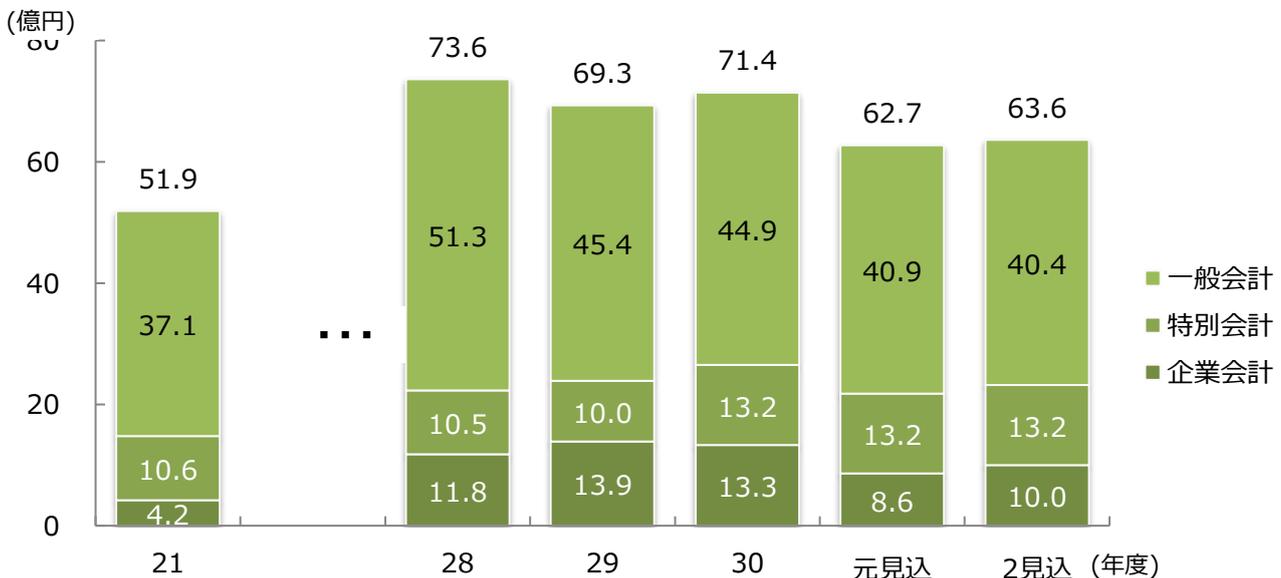


※平成29年度より、公共下水道事業会計と農業集落排水事業会計を統合し、下水道事業会計となっています。

6. 貯金はいくらあるの？

令和元年度末の貯金残高見込みは全会計で62.7億円となっています。一般会計では財源の年度間調整や、将来を担うこどもの成長を促進する事業や障がい者・高齢者福祉の増進、東京オリパラに向けたスポーツ推進に繋がる事業などのために活用しつつ、貯金額は40億円台を推移しています。

今後も、借金の減少と合わせて突発的な財政需要に対応できるよう貯金の確保に努めていきます。



※平成30年度までは決算額、令和元年度からは決算見込額

7. 市民一人当たりどのくらいの予算が使われているの？

小松市の市民一人当たりの市税負担額は、148,278円です。これに、市税以外の収入(P3参照)を加えると、市民一人当たり423,640円の事業を行えることになります。

それでは、どのような目的で予算が使われているか見てみましょう。

一人あたりの市税負担額と予算の使い道

【メモ】

①人口(令和2年1月1日現在)	108,276人
②市税予算額	160.55億円
③市民一人当たり市税負担額 = ② ÷ ①	148,278円
④歳出予算額	458.7億円
⑤市民一人当たり歳出予算額 = ④ ÷ ①	423,640円



【予算の使い道】

こども・障がい者・高齢者の福祉など	152,399円
道路・公園整備など	54,689円
借金の返済	53,305円
学校教育の充実、文化・スポーツ振興など	66,963円
健康増進・ごみ処理など	25,362円
庁舎などの維持管理、戸籍・税金の事務など	30,304円
消防や防災対策など	11,950円
農林水産業・商工業振興や観光交流など	25,163円
その他	3,503円
計	423,640円

ポイント!



こども・障がい者・高齢者などの社会福祉に必要な経費が全体の約3分の1を占めています。次いで、学校教育の充実、文化・スポーツ振興に要する経費が続いています。借金の返済額は高い割合を占めていますが、年々減少傾向にあります。借金の残高や固定的な経費の圧縮を図ることで、その浮いた財源を元に皆さんのサービス向上に繋がる施策を展開しています。

8. 主な施策の概要

令和2年度に実施する事業のうち、主なものをテーマ別にお知らせします。



国際社会共通の目標である「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に向けた優れた取り組みを提案する都市として令和元年度に小松市が「SDGs未来都市」に認定されました。SDGsの考えと予算をリンクさせ、市民、団体、事業者、研究機関等の皆様とともに、まちづくり・地域づくりを進めていきます。

1 80周年と新幹線小松駅開業に向かって



- 市制80周年オープニング記念事業の開催 300万円
 - 市制80周年記念ツデーウォークの開催 700万円
 - 市制80周年記念式典の開催 440万円
 - 全国植樹祭5周年記念メモリアル「スマイル木場潟」の開催 380万円
 - 小松駅東西広場・駅プロムナードの設計、プロジェクションマッピング整備等 9,400万円
 - 新幹線小松駅開業に向けたプロモーションの展開 1,500万円
 - 幸八幡線（若杉町～国道8号線 八幡IC）の整備 3億700万円
 - (仮称)こまつ地域交通プランの策定 900万円
 - 安宅新地区土地区画整理事業 11億3,700万円
- [債務負担行為 6億2,000万円]
- 北国街道（龍助町～西町間）の無電柱化の推進 1億3,000万円

2 「学び」と「共創」のチカラを高め、SDGs未来都市をリード

— 東京オリパラを追い風に —



○SDGs未来都市の推進第3次環境プラン, 水郷アクションプランの策定等)	1,340万円
○Satoyama Artist College こまつ観音下(旧西尾小学校跡地)の整備	5億6,400万円
○東京オリパラ推進(記念モニュメント制作等)	3,120万円
○ローズガーデン整備等フローラルで東京オリパラ花のおもてなし	3,680万円
○小中学校33校、こども園など40園で東京オリパラ記念植樹	170万円
○S・フォーティーンコートのナイター照明増設等	5,460万円
○こまつドームコミュニティ棟改修(設計)	1,550万円
Gibier Atelier(ジビエ アトリエ)加賀の國の運営	1,840万円

3 さらに笑顔あふれる小松市へ – 住みよさTOP10へ –



○私立こども園・幼稚園・保育園の運営費	44億1,900万円
○金野保育所・瀬領保育所を統合したこども園整備	2億3,750万円
	[債務負担行為 2億400万円]
○のしろ児童館の建て替え	3億1,310万円
	[債務負担行為 3億5,030万円]
○保育支援員配置(保育業務, 周辺業務)への補助, 保育士の家賃助成	7,060万円
○私立こども園の施設整備へ助成	3億4,350万円
○予防接種 (ロタウイルス定期予防接種化)	3億1,870万円
○輝く女性の健康づくりレディスプランの実施	180万円
○社会福祉協議会内に(仮称)障がい者相談支援センターの窓口を設置	3,070万円
○認知症見守りアプリ, 認知症保険の導入	37万円
○医療的ケアの必要な児童への訪問看護による家族負担軽減等	5,960万円
○日本語初期指導センター開設による外国人児童生徒の支援等	820万円
○地域協議会活動支援(重点テーマの拡充), はつらつ環境整備(ベンチ設置場所の拡充)	3,040万円
○自動ブレーキ搭載など安全運転サポート車購入への補助	300万円
○市民病院訪問看護ステーションの開設	3,370万円
○市民病院の放射線治療装置を新たな機能を追加した装置に更新	7億2,000万円

4 ふるさと小松を未来につなぐ – PASS THE BATON –



○こまつ芸術劇場うらら内に歌舞伎展示コーナーを設置	1,850万円
○「日本博～GO FOR 工芸～」参加、KUTANismの推進等	3,290万円
○「安宅の関」こまつ勸進帳の里 7月リニューアルオープン	6,000万円
○安宅公園リニューアル整備費(休憩施設, 屋外デッキ, トイレ等の整備)	8,000万円
○符津小学校のリニューアル工事	2億1,920万円
○芦城センター 6月リニューアルオープン	2億1,600万円
○小松市制80周年・能美市新博物館開館記念合同シンポジウム	200万円
○小学校高学年, 中学1年に1人1台タブレットPCを配置, 高速LAN工事	5億9,500万円
○市立高校新1年に高大連携クラス(1クラス)を新設	180万円
○小松市音楽賞、ヒルズ科学賞の新設	40万円
○松東みどり学園整備	8億1,830万円

5 新時代、新技術を。国際都市こまつへの変革



○野菜総合選果場新設への補助、ブランド品目の生産拡大への補助等	2億9,300万円
○小学生を対象にジュニア防災士を育成	190万円
○女性消防士活躍推進のため女性専用室・シャワー室の整備	550万円
○避難所の電源対策として電気自動車購入	400万円
○段ボールベッド・仕切りセット等、避難所備蓄品の充実	300万円
○住宅の安全向上のため浸水対策工事(盛土等)を支援	250万円

令和2年度小松市予算のあらましについて

もっと詳しく 知りたい方は…

小松市HPの組織別案内(財政課)のページをご覧ください。

[発行]令和2年4月 小松市総合政策部財政課
〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地
TEL : 0761-24-8144 (直通) FAX : 0761-24-8190
メール : zaisei@city.komatsu.lg.jp
HP : <http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/>